

【事業所職員向け】 児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価

- この児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		十分なスペースがあり、活動内容に応じて取り組み場所を変えられる。レイアウトの変更を行い、スペースの確保を行っている。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		既定の配置を満たしている。活動の内容によってはもう1名職員の配置が欲しいと思うことがある。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		玄関には階段があるがスロープも設けられており、各部屋の入口に段差はない。多目的トイレもある。下駄箱の前にすのこがあるが、必要に応じて言葉かけを行い、段差がある事を知らせている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日、清掃を行っている。活動内容に合わせて、床座と椅子座スペースを使い分けている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		管理者会議、事業所会議で業務改善について毎月話し合っており、日々の申し送りでも情報共有を行っている。研修にて理解を深めている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		集計を行い、意見について会議で共有し業務改善に繋げている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		集計した結果を各家庭に紙面にて配布。HPでも公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価の実施はない。業務改善に努めていると感じる。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎月職員研修を実施。適宜、外部研修も受ける機会がある。年間で研修計画を法人で立て、担当の割り振りを行い取り組んでいる。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		担当者が聞き取り、アセスメントを行い計画原案まで作成し、計画会議を実施。課題等について話し合いを行い個別支援計画の作成を行っている。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		フェイスシートを活用しアセスメントを行っている。
	12 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画を作成し、計画立案時には会議をおこない情報共有している。期間内にモニタリングを行い計画を見直し、各児童の状況に合わせて支援内容の検討を行っている。
	13 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		計画内容について共有し、支援方法を統一して支援を行っている。日々の申し送りでも支援方法について共有、統一を行うよう取り組んでいる。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員間で相談しながら計画を立てている。児童からの意見も取り入れるようにしている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節の活動を取り入れながら、内容がマンネリ化しないよう工夫して実施している。
	16 (放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		課題に対する取り組みについて、職員が一方的に設定するのではなく、テーマや方法については児童と一緒に考えながら実施している。利用時間に応じて課題設定を行っている。
	17 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別で取り組む活動、集団で取り組む活動を組み合わせる月間で予定を立て、児童の好みも取り入れ計画している。

	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼、終礼を行い支援内容や児童の状況を共有している。役割分担については週間表を作成しており、確認している。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日終礼を行いその日の事を共有し、次回に繋がるよう支援方法の検討も行っている。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別支援記録の作成を行っており、支援内容や活動の様子を記録。申し送りにも必要に応じて記載、職員間で共有し検討している。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		3ヶ月から6ヶ月毎や状況に応じてモニタリングを行い、職員間で検討・見直しをおこなっている。
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		生活能力や集団生活能力が身に付くような様々な活動の取り入れや組み合わせを行い、支援を行っている。地域交流の機会も作れるよう考えていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者、児童発達管理責任者、管理者が参加している。
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて適宜、保健師との連絡を行っている。受診同行を行い、医師との連携にも努めている。
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校から下校表や行事予定表を頂き、必要に応じて電話連絡にて時間確認を行っている。学校からの配布物はファイルにて保管している。全ての学校から漏れなく情報を共有してもらうよう徹底する。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			現在、医療的ケアが必要な児童の利用はない。
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			現在、医療的ケアが必要な児童の利用はない。
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育園に移行した利用児童はまだいない。併用している児童が居る為、利用開始時や利用開始直後は連絡を取って情報共有を行っている。移行する場合には情報共有を行う。
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		小学校に上がる児童はまだいない。移行する場合には情報共有を行う。
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		今年度、新一年生の利用開始はなかったが、今までに保育園に訪問し情報収集を行い、共有した事例がある。
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		今までに移行した利用者については情報提供を行っており、今後も行っていく。
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関から研修や相談をして助言を受けている。また、外部研修にも参加している。
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		以前はコロナ禍で外出の機会も少なかったが、少しずつ緩和されていることもあり、状況に応じて交流の機会が持てるよう、検討を行っている。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		定期的に関催されている会議に参加している。

保護者への説明責任等	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		定期的に面談を実施。連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		保護者より相談を受けた場合、その場で回答する事や必要に応じて職員間で話し合い、提案している。家庭で行っていることも聞いている。
	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に紙面で一緒に確認しながら説明を行い、交付も行っている。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		個別支援計画作成後、保護者に書面で一緒に確認を行いながらできるだけ分かりやすいように説明を行っている。同意を得た後、1部配布している。
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談窓口の設置している。相談を受けた場合、状況に応じて面談を実施し、解決に向け一緒に検討を行っている。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		家族参加での行事を実施し、交流の機会を設けている。 今年度中に保護者会を実施予定。
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		必要に応じて面談の日程調整を行い実施している。 すぐに対応できる相談については電話連絡や送迎時に受付けて、対応している。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		通信やお知らせを配布して情報提供を行っている。
非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		書面について倉庫にて保管。 データの持ち出しは一切の禁止を徹底している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		連絡帳でのやり取り、送迎時の申し送り、電話連絡を行い情報共有を行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域住民による獅子舞の観賞を行事に取り入れている。
	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを策定し、2ヶ月に1回避難訓練を実施している。 感染症対応について各家庭に書面を配布している。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		2か月に1度児童と一緒に避難訓練を実施。避難・防災・防犯・総合訓練を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		聞き取り時に確認を行う事や受診後に確認を行い、状態や服用について把握に努めている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示があるアレルギー持ちの児童の利用はない。聞き取り時に保護者に確認を行っている。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		申し送り、終礼で共有を行い、今日の出来事として書類作成を行いファイリングしている。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年職員研修を実施。外部研修にも参加する機会がある。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		拘束が必要な児童の利用は現在ないが、身体拘束を行う児童がいる場合には適切な過程を経て、計画に記載することを理解している。 自傷他傷がある児童の保護者に対して対応方法についてや出来事を連絡帳や送り時に共有している。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和 5年11月20日